

JF-IETF-RFC4480

RPID : プレゼンス情報データ形式 (PIDF) の拡張

〔 RPID:Rich Presence Extensions to
the Presence Information Data
Format (PIDF) 〕

第 1.0 版

2009 年 5 月 27 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETF において制定された RFC4480 に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第 1.0 版	2009 年 5 月 27 日	制定

4. 工業所有権

TTC の「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC2119 , RFC2141 , RFC2277 , RFC2445 , RFC2648 , RFC2778 , RFC3688 , RFC3856

RFC3860 , RFC3863 , RFC3880 , RFC4479 , RFC4589

W3C 勧告: REC-xml-20040204 , REC-xmlschema-1-20041028 , REC-xmlschema-2-20041028

OMA 勧告: WV-29

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

プレゼンス情報データ形式(PIDF)はプレゼンティティのプレゼンス情報を示す基本形式を定義する。

本形式は、利用可否（オープンまたはクローズ）及び通信用の統一リソース識別子のテキスト記述を定義する。本標準で記述する高品位プレゼンス情報データ形式(RPID)は、プレゼンス情報データ形式に対し、オプション的な要素を追加する拡張である。これらの拡張はプレゼンティティとそのコンタクト先について付加的な情報を提供する。この（追加）情報は、情報の大部分が自動的に取得可能である様に設計される。（例えば、カレンダーファイルやユーザの操作によって）

本拡張は、個人の行動、タプル（複数の情報要素から成る組）のためのグループ識別子、サービスまたは機器の最終利用日時、所在場所の種別、どの通信メディアが私用であるか、別のプレゼンティティに対するサービス群の対応関係、個人の気分感情、所在位置の時間帯、提供するサービス種別、プレゼンティティの状態を示すアイコン、及びプレゼンティティの全体的や役割に関する情報を有する。

これらの拡張は個人、サービス(またはそのタプル)の為のプレゼンス情報を有する。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC4480 : 「RPID:Rich Presence Extensions to the Presence Information Data Format (PIDF)」